



必要な運転準備時間を見直しをしましょう。

設備機器等に必要な運転準備時間（昇温時間など）を把握し、運転開始時間を見直すことで、運用の効率化による省エネを図ります。

対策例

現状

被膜剥離装置
半田付け機

予熱炉

ゲル化炉

キュア冷却炉

昇温時間 150分

昇温時間 90分

昇温時間
30分

昇温時間 60分

6:30 (ヒータON)

7:00

8:00

9:00

生産開始

- ・生産開始時間に対し、昇温時間が長い設備にあわせたタイマー設定で運用
- ・昇温時間が短い設備のヒータ運転を生産開始時刻まで行うため、エネルギーのムダが発生。

改善後

被膜剥離装置
半田付け機

予熱炉

ゲル化炉

キュア冷却炉

昇温時間 150分

昇温時間 90分

昇温時間
30分

(ヒータON)

昇温時間 60分

6:30

7:00

8:00

9:00

生産開始

- ・各設備の昇温時間を考慮し、生産開始にあわせて、昇温開始時刻をタイマーなどで調整することで、ムダなヒーター運転を削減。

省エネ対策のポイント

- ・生産状況等に応じて、曜日ごとで昇温時間のタイマー設定をすることが有効です
- ・運転開始時間だけでなく、生産終了後等の運転停止時間についても、各設備の運用状況を確認し、ムダな運転がないか確認しましょう。